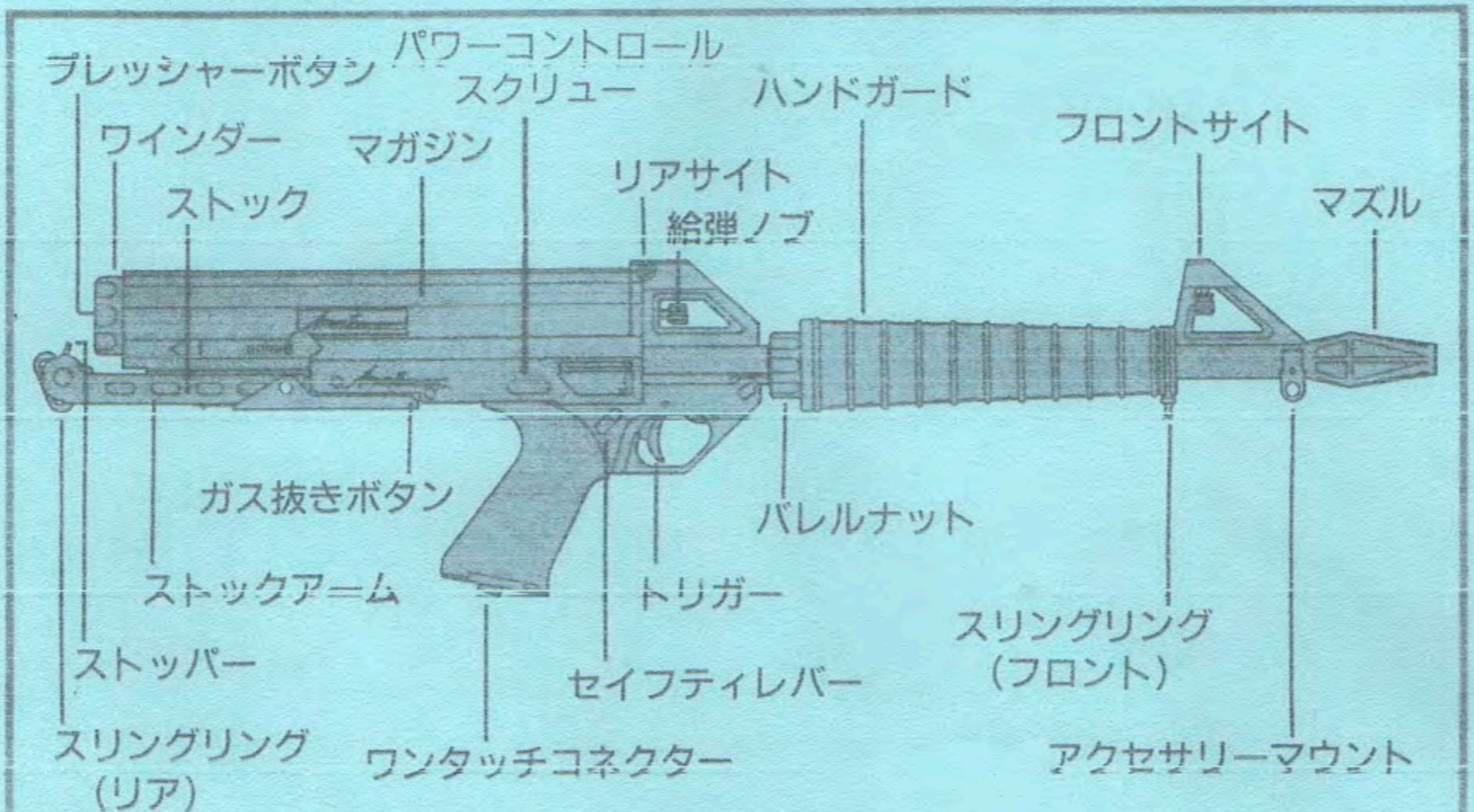


AIR SOFT GUN

# SUPER CALICO

キャリコアサルトM-100スーパーモデル



## SPECIFICATIONS

全長	904mm(ストック展開時)
銃身長	440mm超ロング真鍮製バレル
銃身口径	6.1mm精密インナー仕上げマズル
給弾メカニズム	ヘリカルフィーディングメカニズム
給弾システム	完全ガスオペレーティング強制給弾システム
弾倉	固定タイプ開放型(ガスは流入しない)
装弾数	約1000発(ホッパーによれば本来は無制限)
安全装置	機械式、ガス式
セイフティレバー	左右どちらでも作動
発射方式	セミオート、3バースト、フルオート
ブースターシステム	トリプルブースター標準装備、ダブルガスタイプ ヒートチェンジフィンタイプワンタッチコネクター、 ニードル式流量調整バルブ付き
使用ガス	トリプルブースター専用密封フロン缶

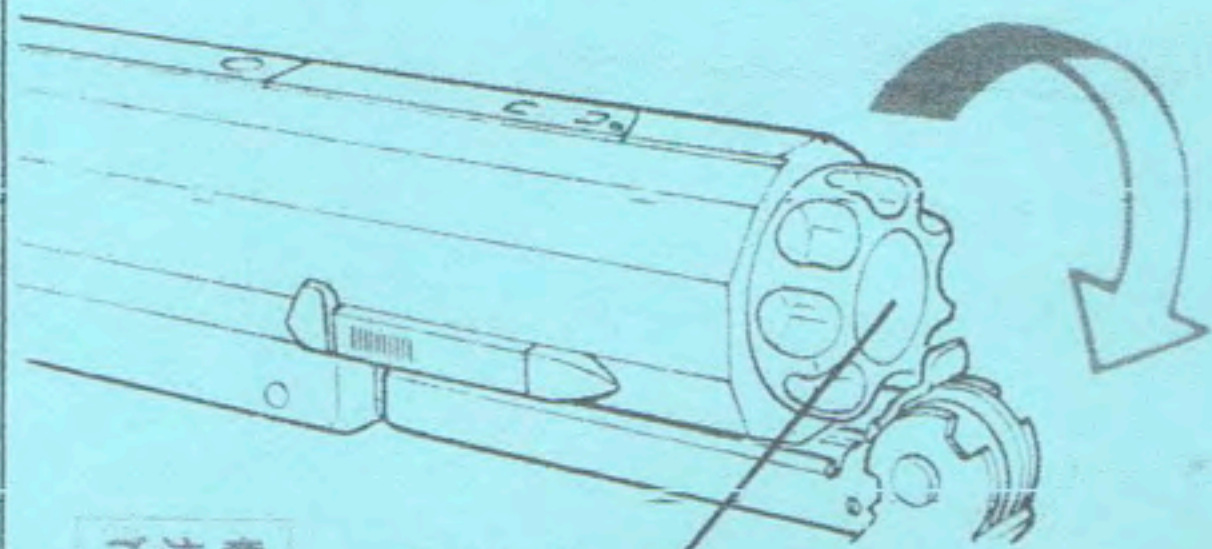
指定外の高圧ガスやエアータンクは絶対に使用しないで下さい。危険です。



対象年齢18才以上

# BB弾の入れ方

## ワインダーを回す！



ワインダーを時計回りにカチッと止まるまで回します。  
(約2回)

※ワインダーが止まったらそれ以上回さないで下さい。  
ワイヤーが切れる場合があります。

誤った使用法により破損された銃の修理については  
有償修理扱いとなりますのでご注意下さい。

ご注意

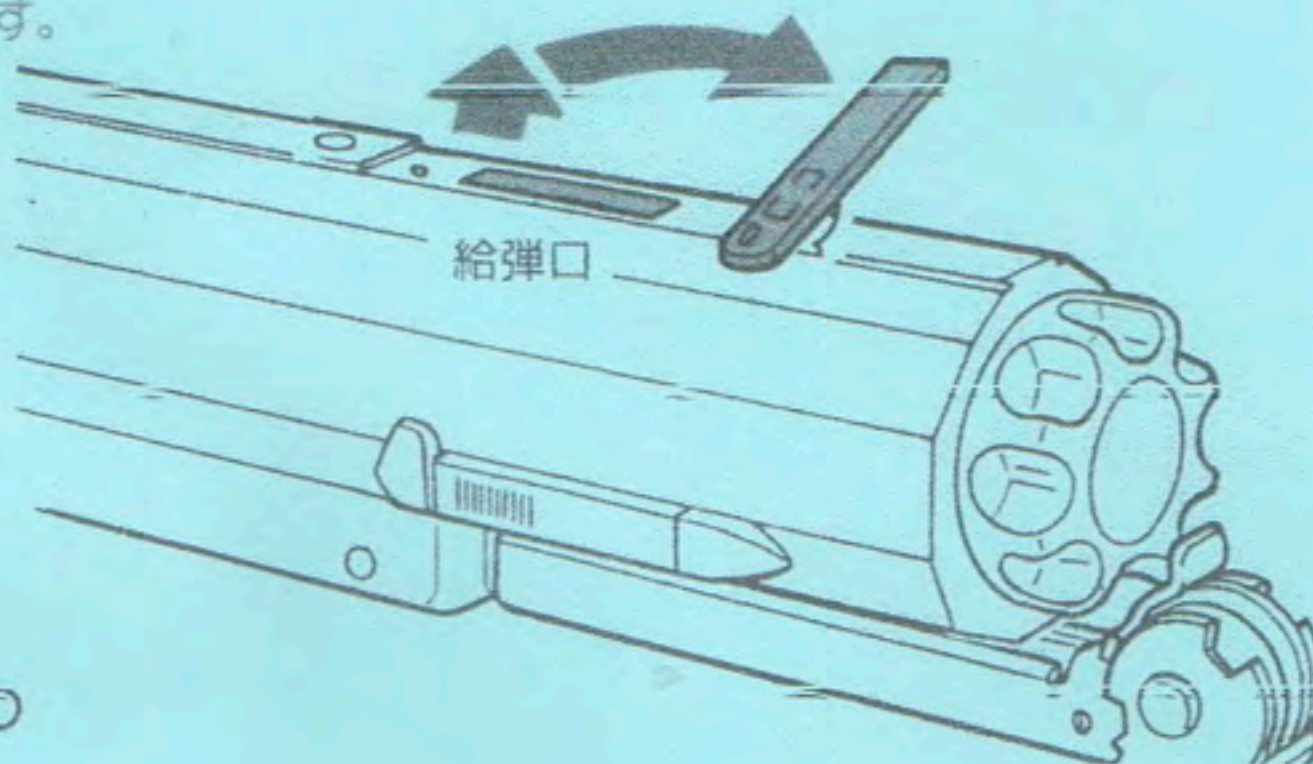
ワインダー

ワインダーを絶対に左方向に廻さないで下さい。  
内部のスプリングが折れてしまう場合があります。

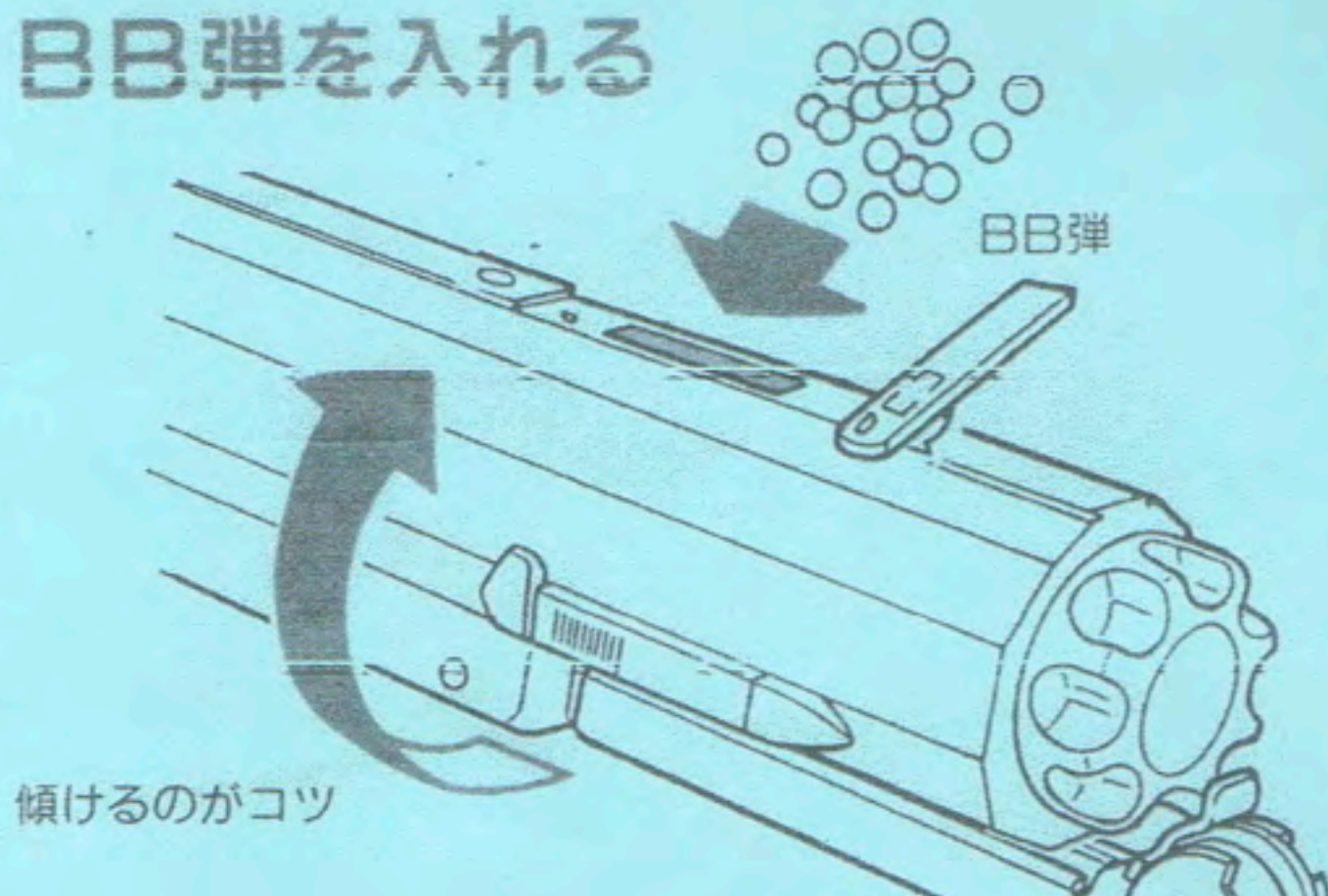
フタを指で引っかけて持ち上げ、スライド  
させます。

※エッジが鋭いので注意して下さい。

## 給弾口をひらく



## BB弾を入れる



銃身を斜めに下げてBB弾を入れて下さい。  
約1000発入ります。

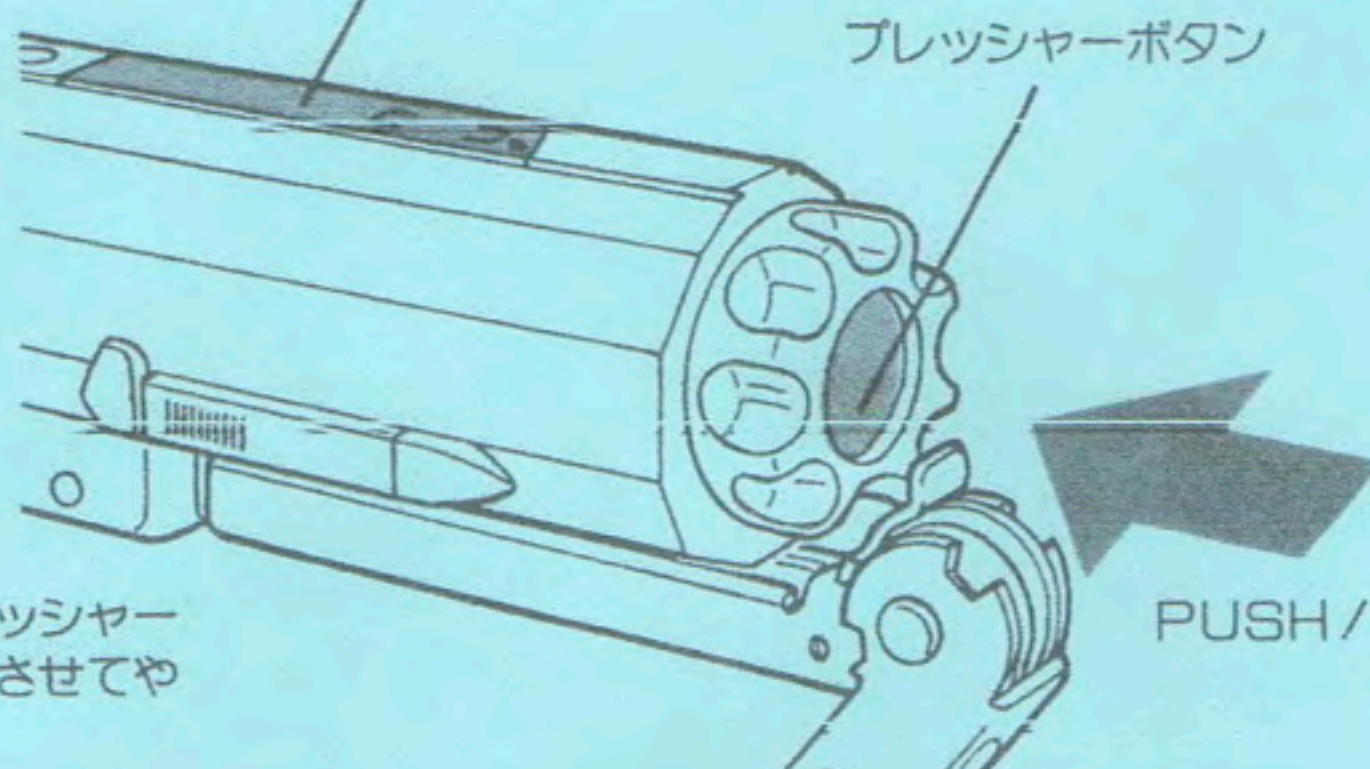
## プレッシャーボタンを押す！

必ず閉じてから//

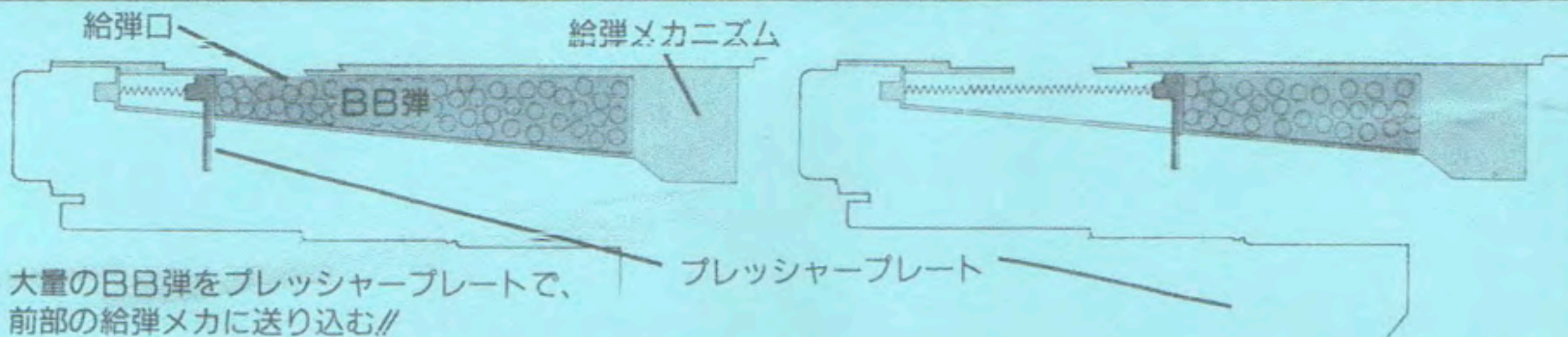
弾を全部入れ終わったら給弾口を閉じ、  
プレッシャーボタンを押して下さい。

※途中でプレッシャーボタンを押すと、  
プレッシャープレートが動いてしま  
います。

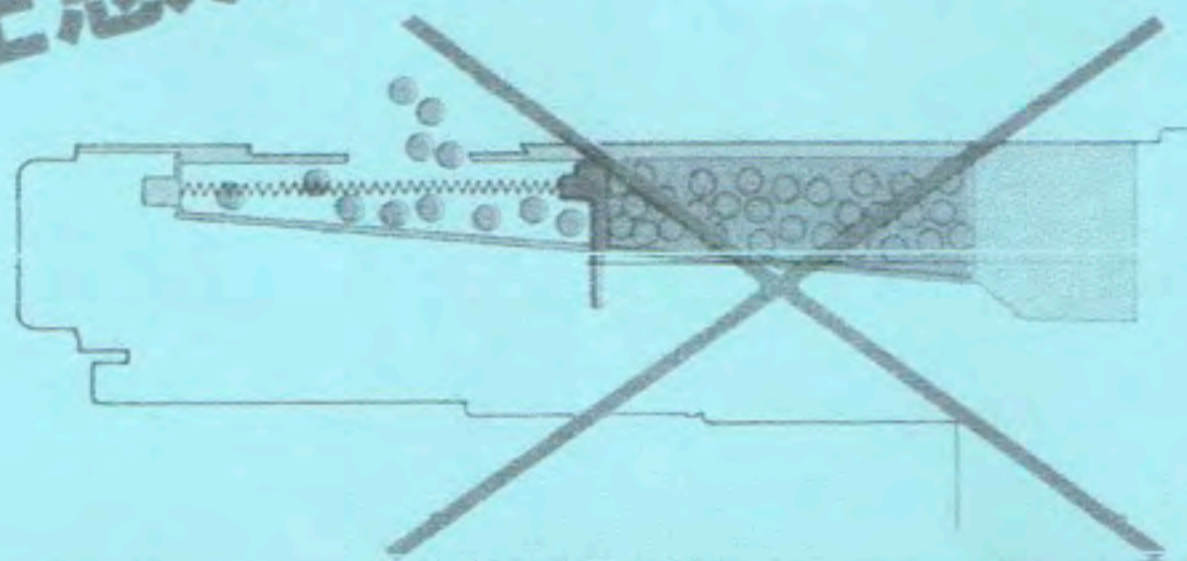
射撃中に時々ワインダーを巻き上げて、プレッシャー  
ボタンを押し、プレッシャープレートを進ませてや  
ると、給弾がスムーズになります。



# 従来の銃とはここが違う!! バックプレッシャーシステムとは…!?



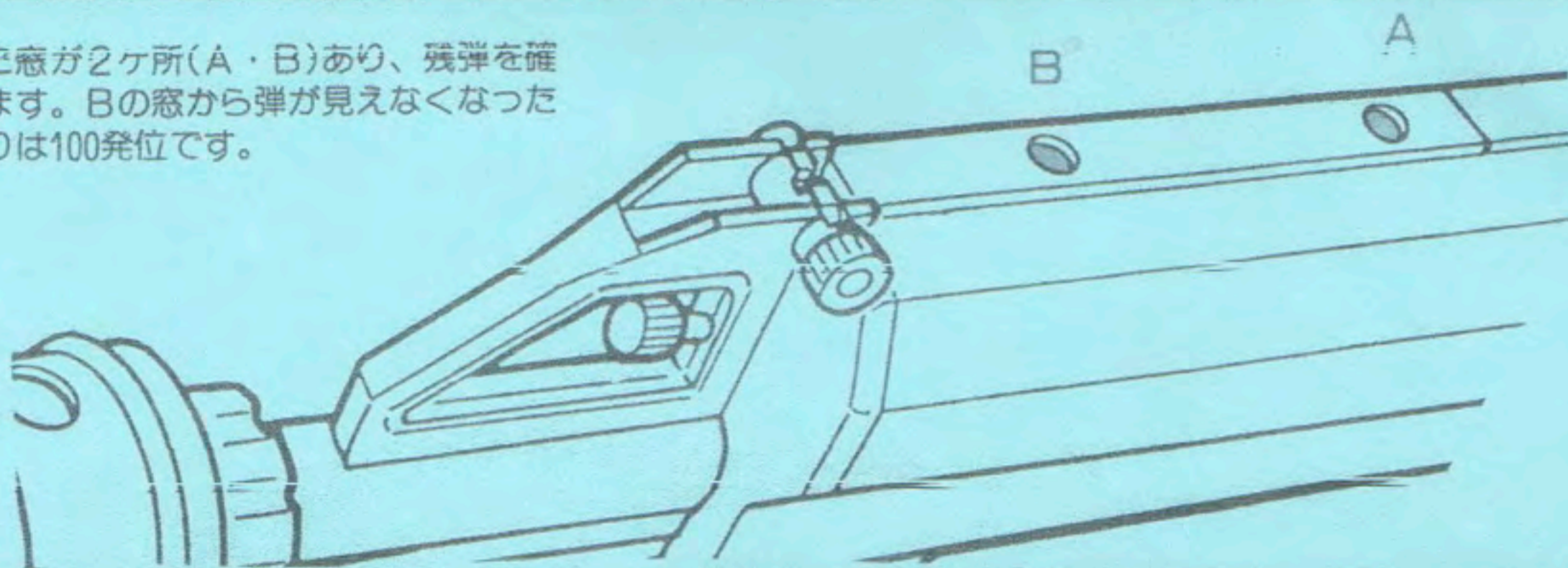
**注意!!** プレートの後ろに入った弾は必ずとり出す!!



万が一プレッシャープレートの後ろ側にBB弾が入ったら、銃を逆さにして1弾残らずとり出して下さい。ウィンダーメカニズムに悪影響を与える場合があります。

## 残弾チェック

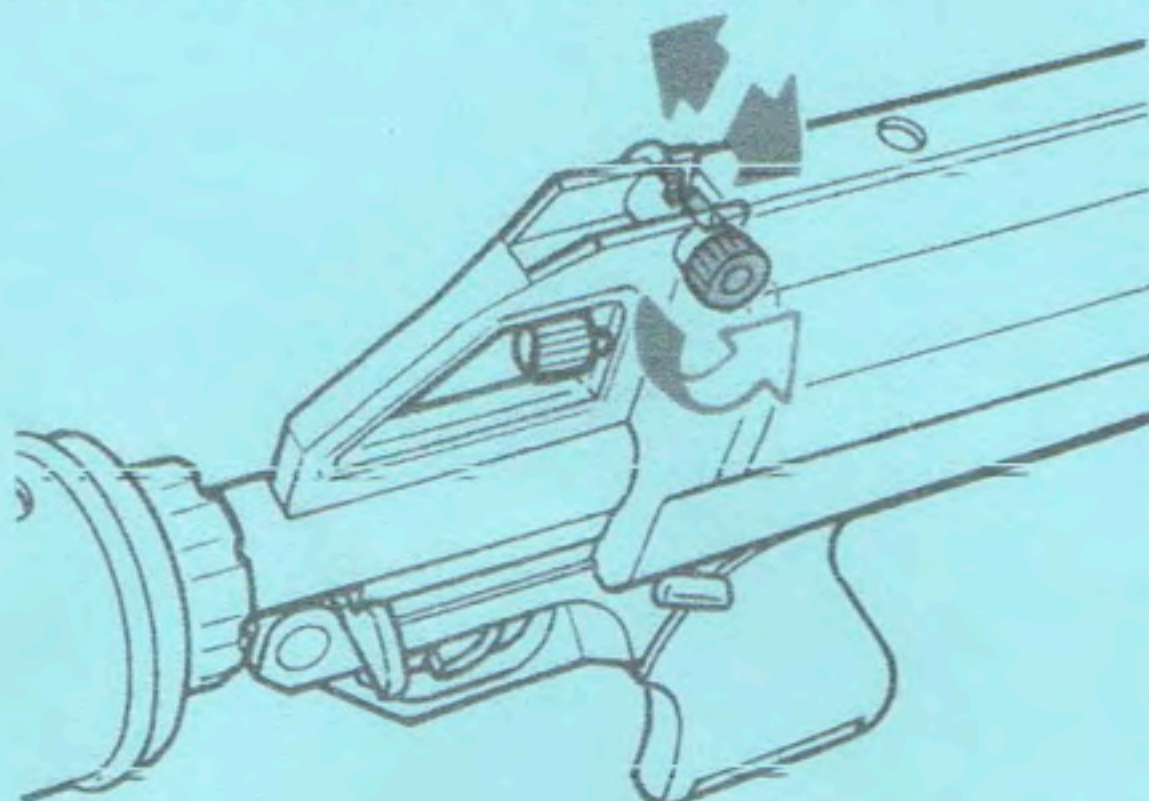
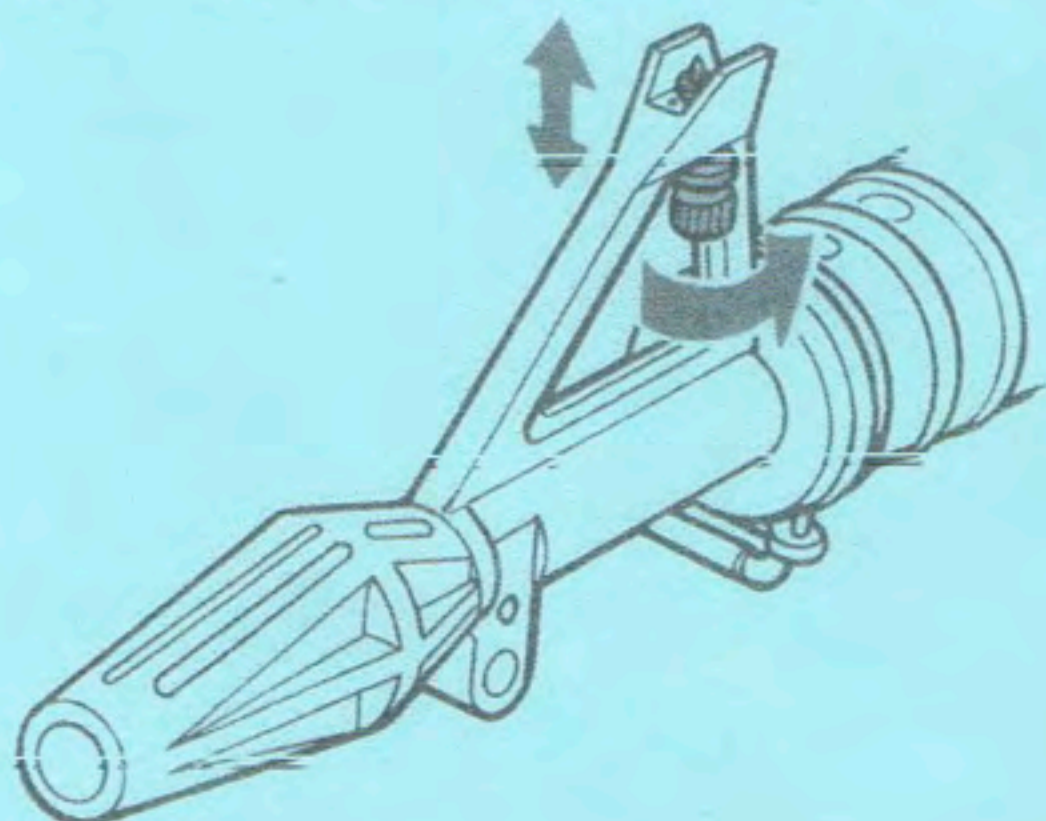
\*本体に窓が2ヶ所(A・B)あり、残弾を確認できます。Bの窓から弾が見えなくなったら、残りは100発位です。



## サイトの調整

①フロントサイトは上下に微調整できます。

②リアサイトは左右に微調整できます。



# セレクターについて

## フルオート

手にひびく振動がリアル!!  
1秒間に約8~15発の発射が可能。

## 3バースト

トリガーを1回引くと、弾が3発ずつ発射されます。トリガーは素早く引き素早くはなします。

## セミオート

弾は1発ずつ発射されます。狙撃、シューティングマッチなどを行うときに…。

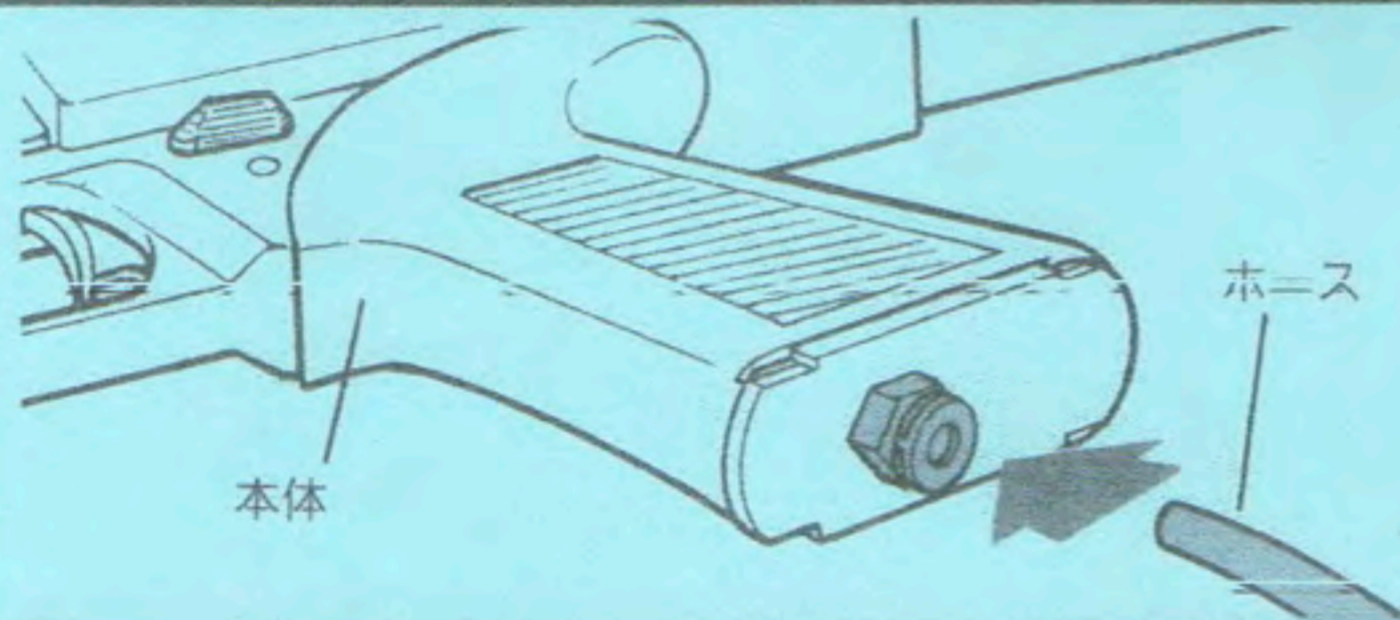
## セイフティ

セイフティは左右どちら側でも操作できます。  
※撃たない時は、必ずセイフティをかけて下さい。

ガス圧をかけていない時は絶対に  
セレクターレバーを動かさない!!

無理に動かすとトリガーユニットが破損する場合があります。

# ホースの接続



ワンタッチコネクターの穴にホースを  
差し込むだけでOK!!

7~8mm差し込む。

# ストックののばし方・たたみ方

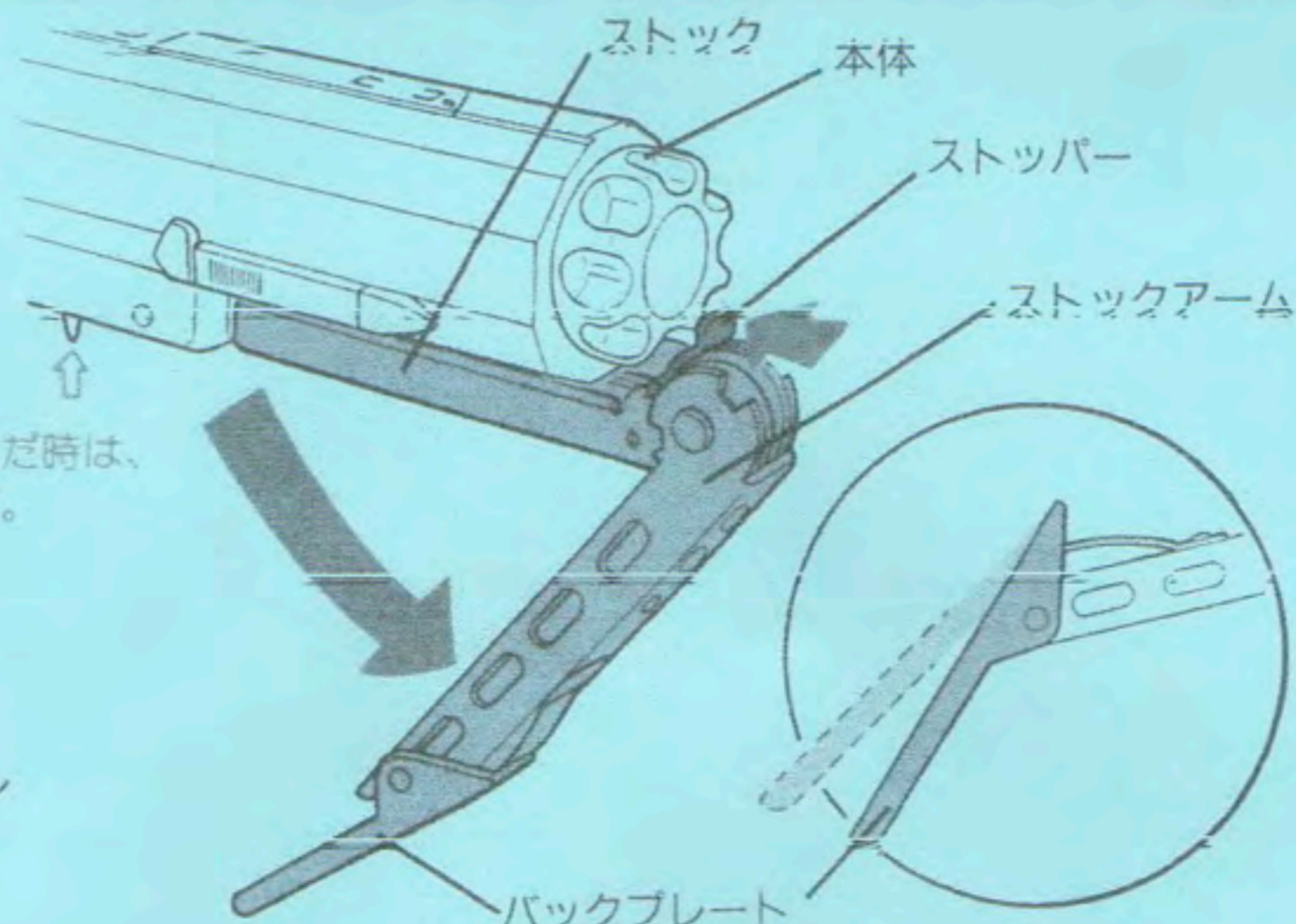
## のばし方

ストッパーを指で押してロックをはずし、  
ストックアームを後ろに回して下さい。  
バックプレートを起こせば完了です。

ガス抜きボタンは、ストックをたたんだ時は、  
バックプレートの内側に隠れています。

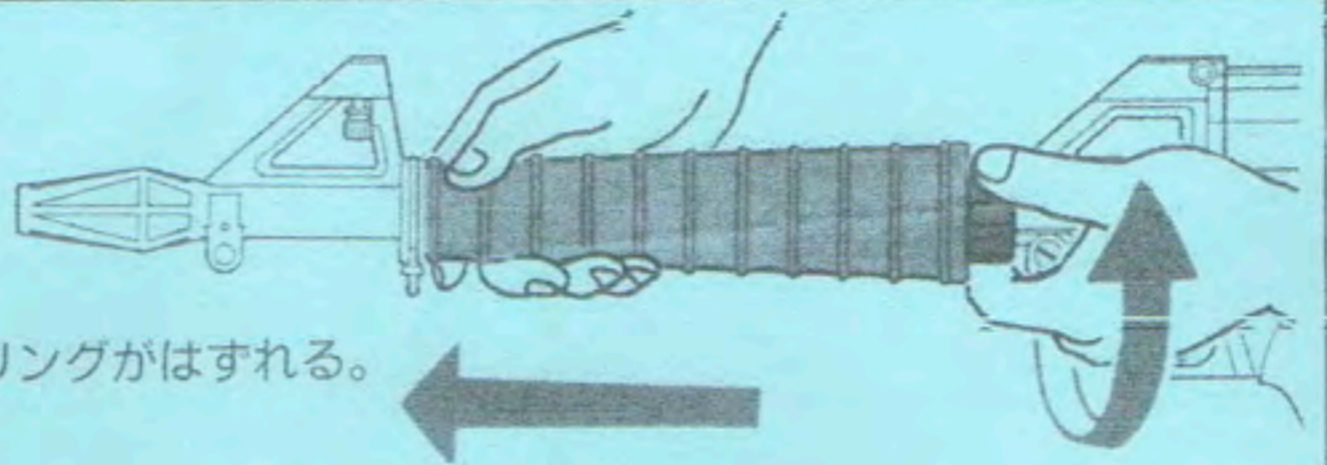
## たたみ方

バックプレートに戻し、ストッパーを押し  
ながらストックアームを前に回します。

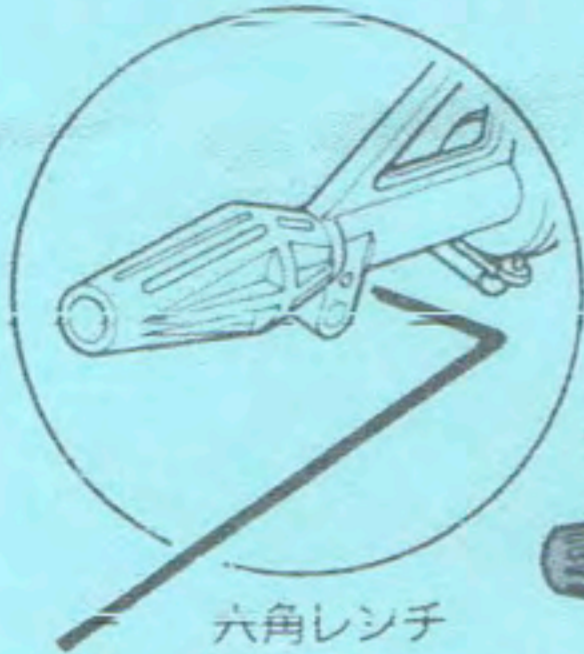


# バレルの分解方法

バレルカバーを前方へ2~3mmスライドさせながらバレルナットを時計方向に回すと、バレルがはずれます。  
六角レンチでネジをはずすとマズルがとれます。

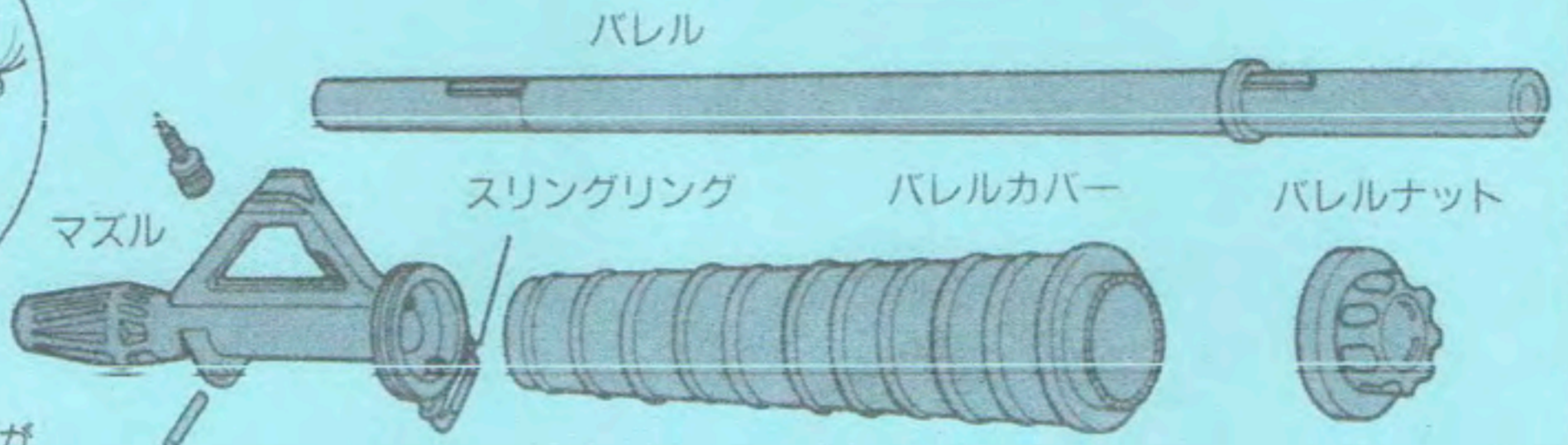


逆転止めリングがはずれる。



六角レンチ

※分解するとスプリングが粉失したりしますので、ご注意ください。



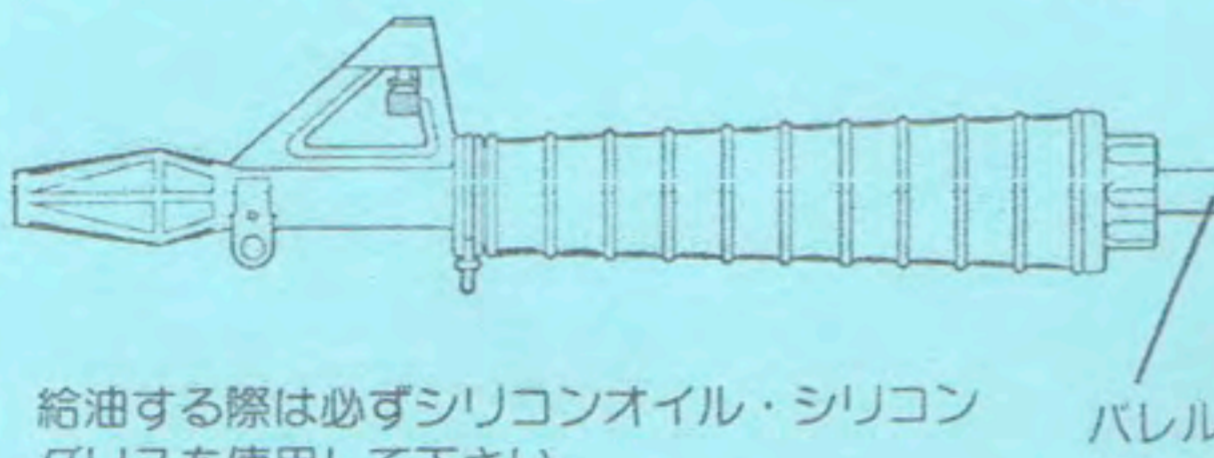
**バレル部分以外は絶対に分解しないで下さい!!**

分解した場合の故障、破損、作動不良等はすべて有償修理となりますのでご注意ください。

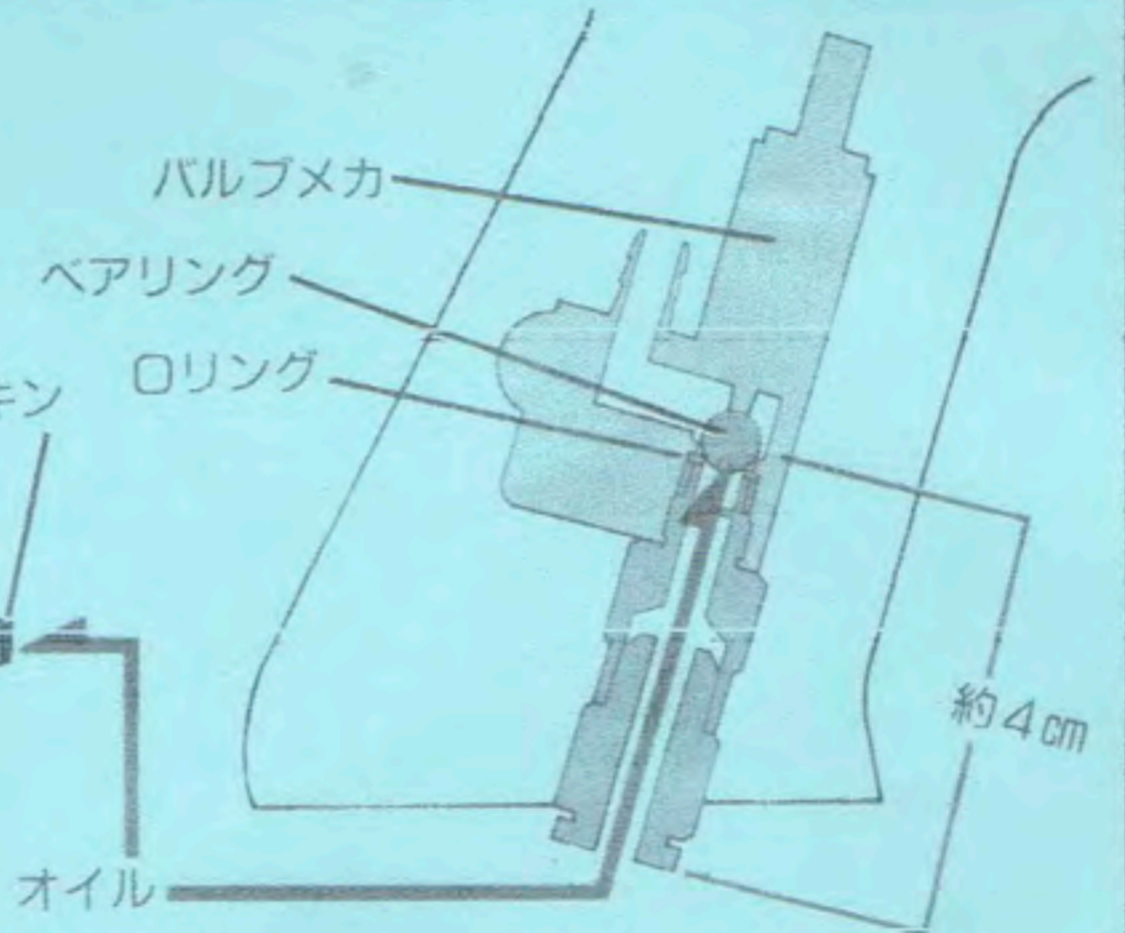
# メンテナンス

**給油について** 給油は原則的に不要です。

バレルパッキンが傷つくとパワーダウンや命中率の低下につながります。時々パッキンに給油すると、パッキンの劣化を防げます。



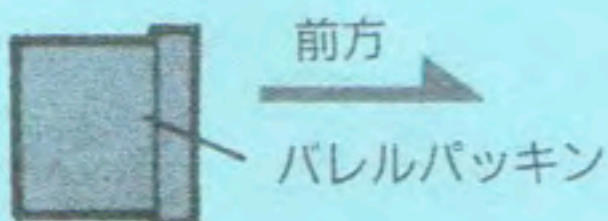
給油する際は必ずシリコンオイル・シリコングリスを使用して下さい。その他のオイル(スプレー式など)はプラスチックを破壊してしまうことがあります。使用しないで下さい。



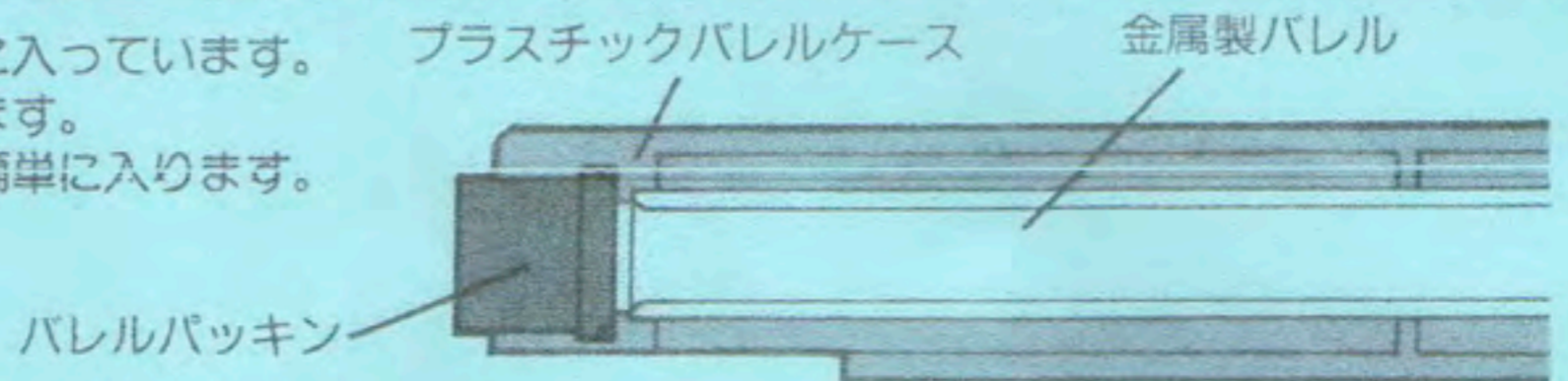
コネクタの入口から約4cm入ったところにパッキンとベアリングが入っています。時々そこに注油して下さい。

# バレルパッキンの交換方法

パッキンは図のようにバレルケースに入っています。つまんで引き出せばすぐに取り出せます。入れる時は、押し込むようにすれば簡単に入ります。



太い方が前になります。



予備パッキン... 1個 ¥300 (千含む)

# トラブルとその対策

トラブル	考えられる原因	対策
引き金を引いても動かない。	ガスがないかガスの残りが少ない。	新しい缶と取り替えて下さい。
	フロンガスが冷えきって3.0kg/m <sup>3</sup> の圧力以下になっている。	フロンの気化を待つて下さい。 フロン系統の保温を良くして下さい。
	フルオートユニット内部に、生ガス等が残っている。	本体下部のガス抜きボタンを数回押しして残圧を完全に抜く。 (ストックをたたんだ時にはかくれています)
30～50発は撃てたが止まってしまう。	ガスがないかガスの残りが少ない。	冬期または寒い地方では、フロンがすぐに冷えて圧力が低下します。保温に十分注意して下さい。
	フロンガスが冷えきっている。 (地域の気候で差が出ます。)	
フルオートは動くが、BB弾が出ない。	弾が入っていない。	弾を入れて下さい。
	割れたBB弾やゴミなどが給弾メカのツメに引っかかっている。	リアサイト下部の給弾ノブを左右にカチカチと少し動かすと、引っかかりがとれてゴミが出ます。
	BB弾をつめ込みすぎている。大量のBB弾が固まりになってしまい、給弾メカの動きを阻害している。	ワインダーを少し右に回しプレッシャーボタンを押さずに銃を振り、固まりになったBB弾をほぐすと、給弾メカへの過負荷がとれて動く。
初弾は出たがそれっきり動かない。	供給したガス圧が高すぎ、安全機構が作動している。	ガス抜きボタンを押し、残圧を完全に抜く。 キャリコM-100の適正作動圧力は、3.5気圧です。

## フロンガスの温度と缶内圧力の関係

フロン缶の状態	フロン缶の温度(°C)	缶内の圧力(kg cm <sup>2</sup> )	作動性
缶に水滴や霜がついてとても冷たい。	0	2.12	作動できません。
	5	2.66	
缶がヒンヤリと冷たい感じ。	10	3.28	作動します。
	15	3.98	
それほど冷たい感じはしない。	20	4.75	快適に作動します。
	25	5.61	
人肌程度の少し温かい感じ。	30	6.56	安全機構上、各所でエアモレが発生します。
	35	7.63	
温水が入っているような少し熱い感じ。危険です。	40	8.79	危険です。ホースを少しはずして、圧力を下げて下さい。
	45	10.0	
	50	11.4	
触れたくない位に熱い。とても危険!!	55	12.9	缶の耐圧限度です。爆発の危険アリ!!
	60	14.6	

あらゆる対策を行っても作動しない場合は…。

トラブル状況・シリアルナンバー・住所・氏名・電話番号を明記の上、弊社までご返送下さい。